



野菜を運送するドライバーへ花束を贈呈する「のん」さん

のんパワーで産地PR

JA新いわて園芸産地出荷式

JA新いわて園芸産地出荷式は7月6日、八幡平営農経済センター平笠野菜出荷場で行われ、生産者や市場関係者ら約200人が出席しました。

本年度は、JA新いわて誕生20周年。純情産地いわて宣伝本部長「のん」さんも出席し、JA新いわて野菜応援隊「もんずらすかしゅーるず」とのトークイベントで会場を盛り上げました。イベントで野菜を試食した「のん」さんは「キュウリは歯ごたえが良くキャベツは甘くおいしい」と、管内で収穫した野菜をPRしました。

登頂の喜び分かち合う

岩手山山開き

岩手山(2,038m)の山開き式は7月1日、焼走り登山口付近で行われ、山岳関係者や一般登山客ら約200人が神事に参加し、今年一年の山の安全を祈願しました。

山頂セレモニーでは、ピッケル交換の後、万歳三唱。予定していた山頂のお鉢を登山者で囲んでのウエーブは、強風と雨のため中止となりました。

今回の山開きは「山の日」の制定を記念した「みんなでふるさとの山を登ろう！」キャンペーンも開催され、鈴木大地スポーツ庁長官も登頂しました。



登頂を祝い、万歳三唱する鈴木長官(左手前)と登山者

新体制で有事に備える

八捜隊委嘱状交付式

八幡平遭難対策委員会捜索救助隊委嘱状交付式は7月4日、市役所で行われ、隊長に田中耕一さん、副隊長に高橋伸也さん、村上伸男さんが委嘱されました。

田村市長は「隊長を中心に、山の安全に尽力していただきたい」と激励。田中隊長は「市民登山や地域の登山イベントなどで、安全登山の啓発に努めたい。また、若手隊員の訓練を重ね、育てたい」と意欲をみせました。同隊は現在17人で組織され、山岳遭難事故に備え、さまざまな訓練を積んでいます。



委嘱された(左から)村上副隊長、田中隊長、高橋副隊長

相撲個人重量級を制す

第55回東日本実業団相撲選手権大会

第55回東日本実業団相撲選手権大会は7月9日、市松尾相撲場で開催され、東日本各地の実業団21団体約100人の選手・監督らが参加しました。

本市は、I部に出場した三研ソイル(株)が団体戦予選を突破し、決勝トーナメント準々決勝戦に進みますが敗退。続く個人戦重量級では、遠藤翔太さん(三研ソイル(株))が優勝しました。遠藤さんは「地元開催の大会で、勝たなければというプレッシャーもありましたが、自分でもまさかの優勝でした」と喜びました。



個人戦重量級準決勝の遠藤選手(右)

祭りで更生保護をPR

「社会を明るくする運動」啓発活動

社会を明るくする運動の街頭パレードは7月15日、大更地内で行われました。

当日は、大更小学校ブラスバンド部を先頭に岩手地区保護司会の会員ら約50人が、のぼりや横断幕を掲げて大更の街中を行進。八坂神社例大祭の会場では、犯罪や非行の防止、更生保護への理解を求めました。

一日保護司に任命された西根中3年の四戸紀利斗さんと田村秋也さんは「暑くて大変だったけど、普段できない体験ができて良かった」と汗を拭きました。



啓発のうちわを配る一日保護司の田村さん(左)と四戸さん

泣き相撲で会場が沸く

白坂観音大祭第12回泣き相撲大会

白坂観音大祭の泣き相撲大会は7月17日、寺田地区の聖福寺境内で開かれました。

当日は1歳前後の赤ちゃん30人が参加。親の愛情が込められた川柳が紹介され、その後に始まった取組では、泣きながら抱えられて土俵に上がる子や、最後まで平然と泣かない子などさまざまな表情に会場が沸きました。遠藤礼唯ちゃんの父の佐輔さん＝五百森＝は「泣かなくて度胸が据わっていた。これからは健やかに育てほしい」と娘の将来を願っていました。



先に泣いたほうが勝ちとなる泣き相撲の取組

すなっぶギャラリー



「U」歌に「F」振り付け「O」お見事でした。ちびっ子カラオケ大会優勝(7月8日、大更ガーデンフェスティバル)



市内の各団体が歌や踊りを市芸術発表会で披露しました(7月2日、西根地区市民センター)



「大きくなってね」とヤマメの稚魚を放流する田山保育所の園児たち(6月30日、米白河川公園)



七夕発表会では年長組の園児たちが大人用の琴で「さくら」を演奏しました(7月8日、ひなざく幼稚園)



寺田さんさんの会がさんさ踊りを披露し、会場の人たちと一緒に楽しみました(7月26日、麗峰苑夏祭り)